

1 羽咋市の公共交通の現状と課題

羽咋市では、平成12年度から住民福祉の向上を目的に、市内全域を往来する地域循環バス（コミュニティバス）の運行を行ってきたが、少子高齢化や過疎化の進行のほか、地域循環バス維持による財政負担の懸念、運転免許返納者の増加など、地域公共交通をとりまく課題が山積してきている。

令和元年8月に実施した住民意識調査や、令和2年2月に開催した「まちづくり懇談会」でも市民から公共交通の利便性や効率化に関する多数の意見が出され、喫緊の課題であるとの認識は市民共通のものとなっている。

特に近年、地元商店の閉店などによる地域内での買い物に支障をきたす住民が増えてきており、公共交通ネットワークの非効率さや住民ニーズとの不一致、利用者の減少などが課題となっている。また、JR七尾線や路線バス、コミュニティバス、タクシー、病院運営送迎バス、スクールバス等の総合的な検討がこれまで十分にされておらず、今後の安定した運行の維持は厳しい状況である。

また、観光や福祉、教育など様々な施策が公共交通と密接に関係し、非常に重要な役割を担っていることから、地域特性に応じたネットワークの強化による持続可能な公共交通のあり方を検討する必要がある。

2 羽咋市地域公共交通協議会の発足

1で述べた現状と課題を踏まえ、総合的・俯瞰的に市域の公共交通を捉えたマスタープラン「羽咋市地域公共交通計画」の策定が急務と考える。

計画策定には、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」で定められている法定協議会の設立が必要なため、これまでの羽咋市地域公共交通会議を発展的改組し、羽咋市地域公共交通協議会を発足する。

3 協議会の目的

限られた財源の中で、現在の公共交通の利便性や効率性の向上を図るとともに、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく公共交通の再編と活性化を図るため、令和3年度中に地域公共交通計画を策定し、令和4年度以降の公共交通ネットワークの再編を目指す。

4 業務内容

地域公共交通計画策定のために基礎資料収集分析やその他実態調査、ニーズ調査を実施し、計画策定に向けた協議を行う。

(1) 上位・関連計画の整理

上位関連計画、他部局の施策等について整理する。

(2) 地域の現状、公共交通の利用実態、ニーズの把握

①住民ニーズ調査による地域の現状整理

- ・住民アンケート調査の実施（住民基本台帳から無作為抽出2000票 郵送配布回収：9月実施）
- ・移動実態や公共交通の利用状況、移動への潜在ニーズ（運転免許証返納の意思等）、公共交通維持への意見等の把握
- ・各地域の人口、交通弱者等の状況
- ・生活関連施設、観光施設等の状況
- ・その他買い物や通院、通学などの利便性や生活利便性に関する現状

②公共交通の利用実態調査

- ・路線バス、市内コミュニティバス等の利用実績等、既存データの整理分析
- ・利用実態や地域の現状、住民ニーズ等を図化
- ・コミュニティバスや路線バス利用者ヒアリングを行い、移動実態、改善要望等を把握

③ヒアリング調査

- ・バス乗務員や交通事業者へのヒアリング
- ・地域団体の代表者等へのヒアリング
- ・福祉施設、主要観光施設、その他公共施設等の関係者へのヒアリング

(3) 地域公共交通計画の検討および取りまとめ

地域公共交通の現状・問題点、課題を整理した上で、地域公共交通計画を取りまとめる。

①基本的な方針の検討

公共交通ネットワークのあり方や運営・運行体制の方針、まちづくりとの連携方針、サービス提供の方針などを検討する。

②計画の目標及び目標達成のための施策事業や実施主体の検討

基本方針を踏まえ、的確な公共交通の再編やサービスレベルの再編、まちづくりとの具体的連携に向けた目標及び実施事業を設定する。

③その他法で規定されている記載事項の検討

計画の達成状況の評価に関する事項、計画期間、その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項等を検討する。